

こんにちは

庄内町議会

です

No.25
9月議会号
22.10.20



セイ〜ヨ〜
ヤ〜セイ〜

余目まつり やっこぶり

- 農業集落排水／公共下水道統一 ―〈議案〉 2
- 決算特別委員会 ―〈委員会報告〉 6
- ここが聞きたい17人の熱弁 ―〈一般質問〉 10
- 議会報告会のお知らせ ― 19
- 議会解体親書 ―〈特集〉 20

9月 定例会

9月定例会は、9月7日から9月22日の会期で開催され、21年度一般会計、各特別会計の決算を認定したほか、条例などを可決しました。

一般質問では、議長を除く全議員17人が町政全般について、町当局の考えをたきました。

屋内多目的 運動場 使用料 値上げ

決算以外で

こんなことを決めました。

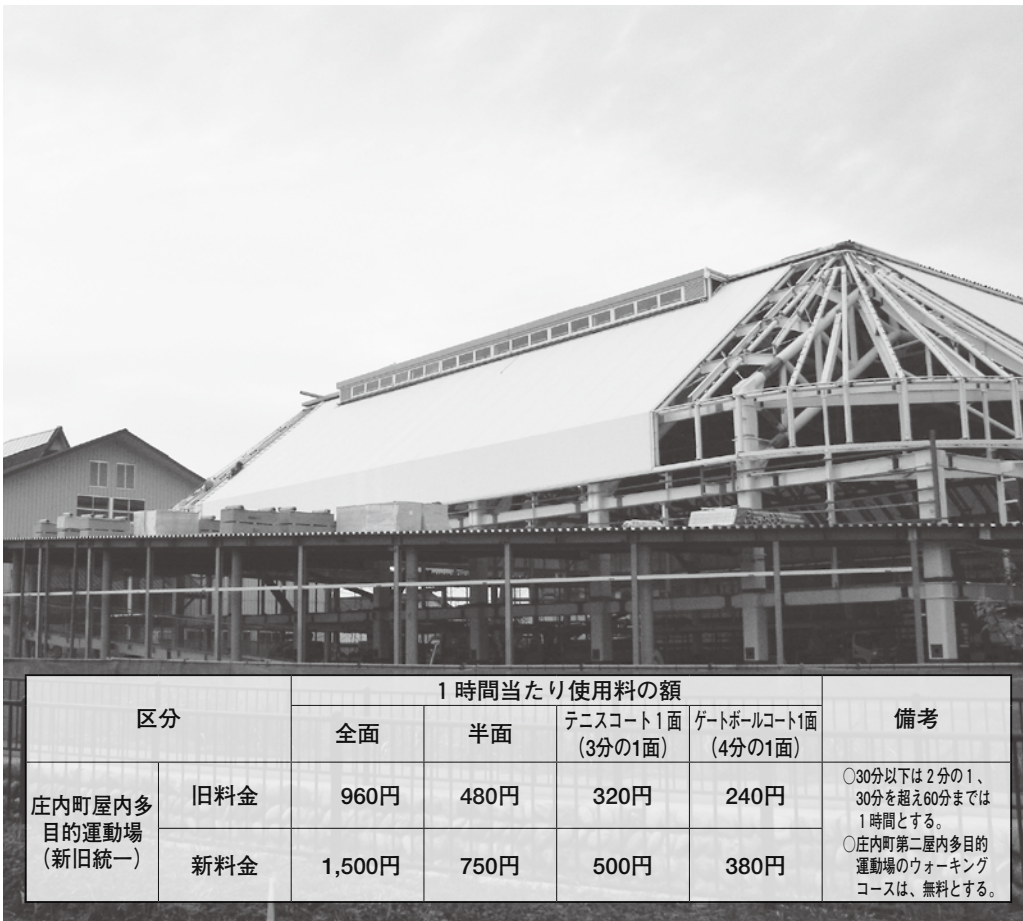
新施設完成 を機会に

第二多目的運動場（仮称）が11月30日に完成し、12月15日にオープンすることを機会に旧施設を含め使用料が改定されました。

1時間当たりの使用料は、全面1千500円、半面750円、1/4面380円としました。新旧施設ともに同額とし、町民と町外の格差はつけないこととしました。

議会からは、新施設より旧施設は安くするべきだ。

また、町民と町外との使用料に格差をつけるべきだなどの意見がだされましたが、採決の結果賛成11人、反対6人で可決しました。



区分		1時間当たり使用料の額				備考
		全面	半面	テニスコート1面 (3分の1面)	ゲートボールコート1面 (4分の1面)	
庄内町屋内多目的運動場 (新旧統一)	旧料金	960円	480円	320円	240円	○30分以下は2分の1、30分を超え60分までは1時間とする。 ○庄内町第二屋内多目的運動場のウォーキングコースは、無料とする。
	新料金	1,500円	750円	500円	380円	

▲急ピッチで工事が進む 新施設

統一

農業集落排水 / 公共下水道

基本料金

105円

農業集落排水の使用料を、これまで格差のあった公共下水道の使用料と統一するため値上げしました。

基本料金1千470円、超過料金153・3円とし、基本料金については平成23年4月分の徴収から、超過分については平成23年10月分の徴収から適用されます。

議会からは、根拠となる調査報告書が今年の1月に作成されたにもかかわらず、なぜ議会に対する配布が9月定例会の初日になったのか厳しく指摘しました。

また対象地域に対していいないな説明をするようにとの意見がだされ、採決の結果、賛成14人反対3人で可決しました。



農業集落排水料金表

基本料金		超過料金 (1立方メートルにつき)	
使用水量	料金	使用水量	料金
10立方メートルまで ただし、5立方メートル以下の場合、基本料金の2分の1の額とする。	旧料金：1,365円	10立方メートルを超える分	旧料金：143.85円
	新料金：1,470円		新料金：153.3円

▲農業集落排水施設 (肝煎)

▲公共下水道施設 (家根合)

地方の声を

聞くとどう

地方財政の充実・強化を求める意見書

世界同時不況に端を発した経済状況は深刻の度を増しており、地域の雇用確保・社会保障の充実など、地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割はますます重要となっている。このため二〇二一年度の地方財政予算全体の安定確保にむけて、次の通り対策を求める。

1. 今後増大する財政需要を的確にとらえ、二〇二一年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。

2. 国と地方の税収配分5対5を実現する税源移譲・地方消費税(消費税の地方配分)率の引上げ・国の直轄負担金の見直しをすること。

3. 地域活性化・雇用等臨時特例費を恒久的財源として継続すること。

4. 景気対策で求められる投資事業の実施にあたっては、地方負担を増加させないこと。

以上の意見書を内閣総理大臣・内閣官房長官・総務大臣・財務大臣・内閣府特命担当大臣・経済産業大臣あてに提出しました。

企業・特別会計決算72億4,700万円

国の仕送り増で黒字!

徴収努力に期待!



▲あや〜めっこいごど〜 (余目まつり)

1千500万円

不納欠損
会社倒産・納税者所在不明等により
徴収断念

入るお金

自動車取得税交付金
3,200万円 0.3%
(前年比34.0%減)

地方特例交付金等
3,300万円 0.3%
(前年比9.8%増)

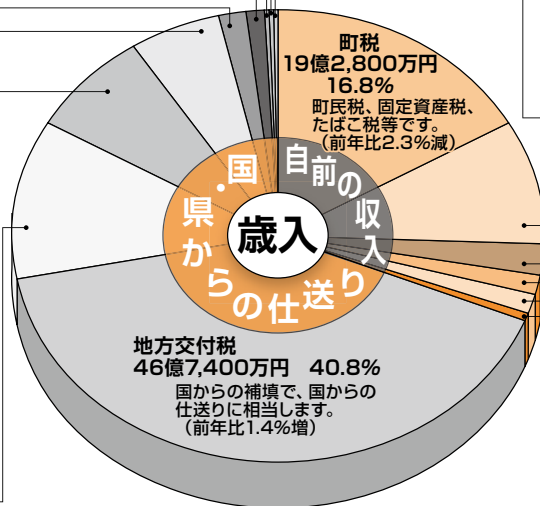
地方譲与税
1億2,200万円 1.1%
そのまま地方公共団体に譲与する税。
(前年比6.4%減)

地方消費税交付金
1億9,000万円 1.7%
消費税のうち町に配分される額
(前年比2.7%増)

県支出金
6億700万円 5.3%
(前年比38.6%増)

町債
8億5,900万円 7.5%
銀行や農協からの借入金です。
(前年比0.7%増)

国庫支出金
13億2,200万円 11.5%
負担金、補助金、交付金、委託金などの総称です。
(前年比1.0%減)



114億4,800万円
(地方財政状況調査による)

21年度一般会計決算107億300万円

一般会計

自前の収入減!

滞納額 2億1,100万円 今後の

21年度一般会計決算は、実質的には、昨年から繰越額を差し引くと、4億7千922万円の赤字になりました。これは、自前の収入である町税や各種交付金などは減少したものの、県支出金や特別交付金、地方消費税交付金、地方交付税などの国・県からの仕送りが増加となったためです。一方では、各種税金や使用料の滞納額が



▲小出沼親水まつり

2億1千100万円となり、徴収断念額（不納欠損額）は、前年比570万円増の1千500万円となりました。財源の68%を占める国・県からの仕送りは、平成28年度からは減少してゆく見通しです。今後の対策は、自前の収入をムダなく徴収するなど、今後の徴収努力に期待し、財源不足の解消に努めることが必要です。

出るお金

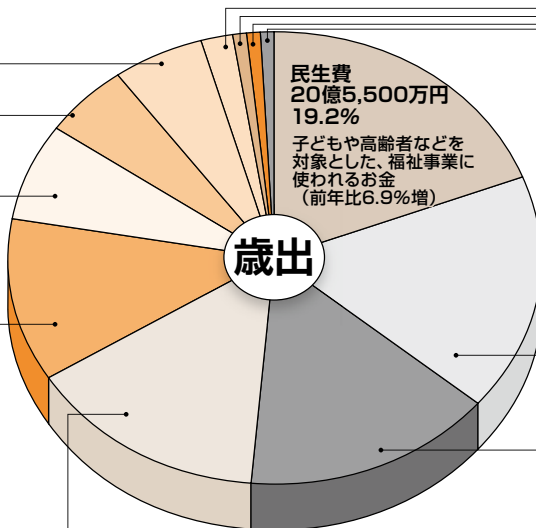
衛生費
5億7,500万円 5.4%
健康づくり、環境対策、ごみの処理などに使われるお金
(前年比13.3%増)

消防費
5億8,200万円 5.4%
消防活動に使われるお金
(前年比0.2%増)

農林水産業費
7億5,000万円 7.0%
農林水産業の振興などに使われるお金
(前年比25.0%増)

土木費
12億3,900万円 11.6%
道路、公園の整備や維持管理などまちづくりに使われるお金
(前年比23.3%増)

総務費
15億8,400万円 14.8%
広報や庁舎管理など、町の一般的な事務に使われるお金
(前年比3.8%増)



商工費
2億100万円 1.9%
商工業の発展、観光振興などに使われるお金
(前年比19.1%増)

議会費
1億2,100万円 1.1%
(前年比1.4%増)

労働費
7,700万円 0.7%
(前年比365.1%増)

災害復旧費
7,000万円 0.7%
(前年比61.0%減)

教育費
18億3,200万円 17.1%
公民館や小中学校、文化活動、スポーツ振興などに使われるお金
(前年比1.4%減)

公債費
16億1,700万円 15.1%
借り入れたお金の、返済に使われるお金
(前年比22.1%減)

決算特別委員会

決算特別委員会

委員長 齋藤健一



平成21年度の一般会計決算と10の特別会計等の決算を審議する決算特別委員会は、委員長に齋藤健一、副委員長に佐藤彰の両委員を選任し、3日間の日程で開かれました。

14名の真剣な質疑が行われ、原案どおり認定しました。

石川 保委員

幼稚園の預り保育

「受け入れ時間を改善せよ」

問 保育園の保育

時間は条例等に基つき、午前7時から午後7時までとなっている。一方、幼稚園の一時預り時間では、早朝部分が「7時30分から」となっており、保護者から改善を望む声

が多い。住民ニーズへの速やかな対応として、直ちに条例改正できないか。

委員長

園長からの聞き取りでも、保護者からの要望の強い事項としてあげられた。23年度からの実施をめざし、次回12月定例会での改正にむけ、準備をすすめている。

佐藤 彰委員

受診率アップへ

問

妊婦検診14回、歯科検診も1回無料となった。にもかかわらず歯科検診は149人に対し、28人しか受診していない、なぜか。

町長

町内の歯科医と契約しており、町外の場合、対象外となる。なお、検討し、周知を図っていく。

問

胃がん、大腸がん、肺がん検診の受診率が昨年に比べ、下がっている。受診率を上げる努力をしているのか。

町長

さまざまな集会などで、受診を勧めている。22年度より検診は無料とし、早期発見、早期治療に努めていきたい。



▲今年も心配ないと思うけど…？

齋藤 秀紀委員

日本一おいしい米

コンテストの目的は

問

これまで、他の県の米が上位入賞を果たしているが、わが町の米のおいしさを発信し、流通させる事にコンテストの意味があるのではないか。

町長

米離れを底辺から押し上げ、「亀ノ尾」発祥の地として、おいしい米づくりを全国へ発信する。

どうなる

小作料協議会廃止

問

小作料協議会は、受委託者間において、重要な役割がある。今後、米価下落による受け手の耕作放棄が心配される。どう考えているのか。

農会長

廃止は国の政策であり、今後は農協などの調整に委ねたい。



▲豊作 喜ばない実りの秋

押切のり子委員

良質均等な

苗生産を

問

種苗センター
事業では第一・
第二施設間で種苗のば
らつきがある。できる
だけ会員に、良質均等
な苗を提供できるように
すべきである。

町長

利用部会の役
員が現場作業を
チェックし、技術の平
準化に取り組んでいる。

女性の参画で

グリーンリズム拡大を

問

グリーンリ
ズム事業は受け
入れ先があれば、庄内
町へのニーズが多くあ
る。より交流人口拡大
を図るためにも、女性
の積極的な参画が大切
ではないか。

町長

そのように進
めて行きたいと
思う。

石川 恵美子 委員

若者の

組織づくりを

問

成人式での再
会をきっかけに、
若者が交流し合える組
織づくりを提案したが、
その主旨を説明し、実
行委員会への働きかけ
をされたのか。

町長

いまだ、その
取り組みはして
おりません。

五十嵐 啓一 委員

温泉利用券の

活用促進を

問

福祉温泉利用
券は、交通手段
のない高齢者の利用が
少ない。福祉バスや、
温泉施設バス利用はで
きないのか。健康講座
などと、共同実施して
はどうか。

町長

デマンドタク
シーの活用も検
討し、他の福祉制度を
使い、利用拡大を図り
たい。

防犯灯の設置は

公平に

問

防犯灯の設置
は、防犯を目的
に、40mから50mの間隔
で設置されるとあるが、
場所によっては、間隔
が違っている。なぜな
のか。

町長

電力柱の無い
所は、鋼管柱に
設置している。同じ間
隔にするように努めた
い。

公共事業の

無駄削減

問

下水道工事な
ど、予算の関係
で分断施工している。
税金を有効活用して
いるのか。

町長

工事の発注は、
財源を無駄なく、
効果的方法で実施して
いきたい。

工藤 範子 委員

防災無線

活用を控えよ

問

防災無線は、
「いざ」という
時使用する目的の設備
である。イベント情報
などの利用は控えるべ
きである。

また、夏期は音量を
調整してはどうか。

町長

管理運用規程
にあわせて、情
報整理をし、考えてい
きたい。

重い国保税

一考せよ

問

国保税滞納は
年々増えている。
税金が生活に重くのし
掛かり、滞納が発生し
ているのではないか。
来年度は見直しを図
られるようであるが、
保険料に一般会計から
繰り入れすべきである。

町長

国保審議会の
答申を受けて考
えたい。



▲情報内容は考えて



▲苗 半作！

税金は正しく使われたか

決算特別委員会

石川 武利 委員

歩きやすい

歩道へ

問

小出沼公園の遊歩道の敷き石は、凹凸があり危ないし歩きづらい。過去にけがをした幼児がいた。今後どのような対応策を考えているか。

町長

精査を行い、最善策を見つけ出したい。

町道除草後

処理はいかに

問

町道（本小野方・廻館・廿六木線）の路肩、法面、法じりの機械除草では残草があり、後処理に隣接所有者があたっている。

町長

所有者との協議を行い取り決めをしてはどうか。除草体制を検討したい。

清野 等 委員

合理的経営を

問

三郷原リパーク事業は約600万円、北月山荘事業は約700万円の赤字である。

営業曜日、時間を考え、しっかりとした経営のできる人材を配置し、合理的経営をめざすべきである。

町長

カート場は、休業日を一日増やし、人件費や委託料の削減を図り、赤字解消に努めている。北月山荘では、食事提供などでリニューアル後、利用者が増加している。経営改善は難しさもあるが、工夫していきたい。



▲デコボコ歩きにくいね（小出沼遊歩道）



▲いい香りね（ラベンダーまつり）

上野 幸美 委員

イベント内容の見直しを

問

ラベンダーまつりで、イベント会社による興業事業は、高額支出となっている。今後は、住民参加型の開催内容に見直すべきである。

町長

21年度も取り組んだが、来年度さらに改善したい。

耐震診断と改修の助成はセットで

問

国は来年度より、住宅耐震工事への補助制度を打ち出している。

町長

本町では、耐震補強工事費補助制度を設けていないので、受けられない。現在ある耐震診断とセットでの制度とすべきである。

榎本 秀将 委員

利用実態を

把握せよ

問

ホームページに掲載することで、各種情報の広報活動をしているが、アクセスの現状を把握しているのか。

また、PDFデータを活用しているが、ダウンロードに手間がかかり、検索エンジンにも検出されない現状である。早急な改善策を図るべきと思うが、どうか。

町長

ホームページのアクセス数は把握しているが、内容のアクセス数までは把握していない。今後、方策を検討していきたい。

町長

今後、診断率アップも含め検討したい。

小野 一晴 委員

効率的な事務を

問 現在の職員体制は、県の緊急雇用事業で臨時職員を含めて成り立っている。緊急雇用事業終了後は、町の財源で雇用するの

か。できないとすれば、

人員適正化計画どおり減少する職員体制でも、町民サービスが低下しない事務執行システムを確立するべきである。

町長 緊急雇用事業終了後は雇用継続はしない。職員が減少した後の事務執行体制については精査したい。

村上 順一 委員

不要額は妥当か

問 21年度の残額となる不用額が、

4億9千800万円と前年対比47%の大幅増額となっている。職員の節約と創意工夫や、予期しない事情があつて増えたと理解したい。

しかし、予算編成時に不用額が生じないよう十分配慮すべきである。

町長 全般にわたって増加している理由と要因を、どのように総括をしているのか。

予算の規模や事業数が多くなることで、必然的に増加する側面はある。できるだけ減額に努めていきたい。



▲誘致…当初計画は

日下部 勇一 委員

町税・自主財源 減の要因は

問 歳入の町税は、構成費16.8%、昨年17.5%、率・額ともに下がっている。農家収入や給与所得が下がり、厳しくなっているためと思われる。

また、自主財源も昨年比の0.9%下がっている。その要因は。

町長 個人、法人税とも、収入額の低下が要因である。

支出は適当か

問 駅前の創造館の基本設計682万円、維持管理368万円、植栽工事57万円、屋根改修98万円、内部改修工事137万円の費用をかけ、さらに不足のため11万円の追加となっている。なぜか。

町長 基本的に、ユニカとの取り決めで、使用料内で負担している。

こんな質問もありました

◎小・中学校、電子黒板機能付デジタルテレビの使用状況と、子どもたちの反応はどうか。
◎地域宅配ネットワーク、イグゼ便利便の現状と、今後の取り組みはどうか。
◎21年5月より配置した、嘱託徴収員による、滞納者への集金業務の効果はどうか。

◎庁舎内、職員組合事務所からの唯一の支払い、共用電話料額19万円の根拠は。

◎公債費比率の14.1は、昨年度より18改善されたが、目安は10を超さないことが望ましいと、言われているがどうか。

※詳細内容は、議会ホームページか、各公民館に置いてある会議録をご覧ください。



▲親切的な対応しています

税金は正しく使われたか



郷土愛 地域に感謝する 教育 心を育てよ

教委長 自らの役割を再認識



齋藤 秀紀 議員

「本町に住みたい、住み続けたい」と思える郷土愛にあふれた子ども、若者であって欲しい。

この町の良さを深く認識し、ここで育つことに誇りを抱かせる教育が個々の家庭を豊かにし、若者の定住を促進させ、過疎化対策につながると思う。

学校および社会教育のなかで、若者に対し地域に感謝する心を育むと共に、家を守り、次世代へ引き継ぐ役割



▲生まれた、この町がすき

の大切さを伝えていくべきではないのか。

教委長

郷土愛は、昨年策定した、庄内町の子どもの像の前文でも「わたしたちは、緑と風と清流の里、庄内町を愛し」とうたっており、町に対する誇

りと愛着が人間形成の基礎になると考えている。

自分の家庭を大事にすること、自分の故郷を大事にすることをもちと、子ども達に語っていくべきではないかと思っている。

庄内町の人や自然の良さを知らせ、より良くしていこうとする意欲や実践力を育て、自らの役割を再認識するとともに、その達成に鋭意努力したい。

学校施設

整備費集金するな

教委長

保護者の立場で配慮



▲花壇整備は教育予算で

に義務教育費税外負担禁止条例を先進自治体に学んで、制定すべきではないか。

教委長

集金の中身は、学校によって多少項目に違いがあるが、子ども一人ひとりが個人として使用したり、修学旅行や卒業関係の積立など、あくまで個人に還元するものである。



工藤 範子 議員

町内の学校（7校）の1校だけ、施設整備費を保護者から集金している。なぜなのかと以前、質問したときの答弁では「中庭や花壇

整備とか、さまざまな学校の環境整備に使用している」とのことであった。

「地方財政法第4条の5」では、割当的寄附金等は禁止されている。

学校設備の設置費および、維持修繕に要する経費は、教育予算で賄うべきではないか。また、これを機会

それ以外の学校教育全般にかかわる費用は、町として毎年予算化しており、保護者の負担は求めている。

保護者負担の軽減を目的に学校集金の中身の見直しや、必要性の吟味などを各校へ指導してきた。

今後とも保護者の立場に立ち配慮したい。

健康診断

要精検者の無料化を

町長 徹底した対応で



▲正常値でありますように

がるものと考え
が、どうか。

町長

がん検診
の無料化に

より、検診率が向
上し、かなりの効
果が出ている。

これまで意識が
低かった、胃がん
以外のがんについ
ても意識が高くな
ってきていると感
じている。

要精検と診断を

受けた方の検査の無料
化は、今後の課題と考
えるが、当面は、要精
検の方々がその後の精
検を受けるまで、徹底
して電話や訪問により
フォローしていくこと
から始めていこうと考
えている。



五十嵐 啓一 議員

昨年、町長選挙のマ
ニフェストで特に強調
していた「がん検診の
無料化」に伴い、検診
率の向上につながった
のか。

21年度で、検診の結
果、要精検と診断され
た人は1千名ほどいる。
「ガン治療」で、1人
当たり30万円、心臓手
術では50万円が国保か
ら支出されている。
要精検者の検査費用
を町負担とすることで、
早期発見、早期治療が
図られる。
町民の健康促進と高
額医療費の削減につな

学校給食

教委長

総合的な判断

自校給食にせよ



押切 のり子 議員

「食」の大切さは解
かりつつも、家庭で対
応しきれないところを

学校給食に大きな期待
をしている状況である。
「食」は心と体をつ
くる源である。生きる
力の源でもある。給食
は大変大切な教育であ
る。
子ども達に熱いもの
は熱いうちに、冷たい
ものは冷たいうちに、

食べさせること、生産
者や調理師の働く姿の
見える食育を行うべき
ではないか。
大切な子ども達のため
にコストを優先した、
給食センターではなく、
自校給食にすべきであ
るが、どうか。

教委長

平成20年1月
の教育委員会



▲校内に給食の香りを (余目第一小学校)

は、学校施設等整備検
討委員会からの提言や
文教厚生常任委員会の
調査報告を尊重し、今
後の学校給食施設の整
備は衛生面、食育面、
経費面などから総合的
に判断し、共同調理方
式を採用する旨の庄内
町学校給食施設整備基
本方針を定めている。
現在、管理運営方法
などを検討しており、
今後は自校給食の良さ
を大事にしなが、建
設計画の検討をしたい。



いざいざいざい

一般質問



中高
一貫

今こそ手をあげては

教委長
課題解決が先決



上野 幸美 議員

各地で少子化に歯止めが掛からない現状のなか、高校の統廃合が進められている。

県高校教育課では、中高一貫教育校設置構想を示し、県内4会場で説明会を開催した。内陸、庄内地域に各1校設置の内容である。本町も、将来を見えた視点で、一貫校設置に手を上げてはどうか。

新しい教育環境への町民の関心を高め、広く保護者に情報を開示

し、設置に向けて検討してはどうか。

教委長
現在、教育委員会内部では中

高一貫教育校には多方面から調査・検討を進めている。



▲将来はどうなるのかな… (庄内総合高校)

先日、県教委とも話し合いを持ち、県の考え方も確認し、新たに分かったことや、庄内町として考えていかなくはならない課題が見えてきた。

庄内総合高校の存続さらには中学校の現状を考えた時、中高一貫校への立候補は、それ以前に解決しなければならぬ課題が本町にはあると考えている。

新産業創造館 計画のまま進めるのか

町長 基本計画に沿って



清野 等 議員

新産業創造館の実現には、町民の疑問や疑念がくすぶっている。貸オフィスの募集の方法や、事業の急ぎ過ぎによる町民への説明



▲まだ増やすの 貸オフィス

町長

今年3月に基本設計をまとめ、その後の専門的な検討を進めるために、今年度検討・調査を重ねている段階である。

食と農の館・工房の館・産直市場・貸しオフィス・庄内町情報館といった、それぞれの具体的機能の詳細は、庄内町の拠点として、魅力づくりとして何が一番いいのかを検討している最中である。

この事業の目的である産業振興、雇用の創出、庄内町の顔づくりとする基本計画に沿って、11月中に検討委員会ですべて進めたい。

不足が原因ではないか。その後の誘致企業の状態も計画どおり進んでいない。専門会議で検討中とのことだが、この経済不況のなかで、以前、町民に説明した内容や4月に全員協議会で報告した内容で、計画をそのまま進めるのか、どうか。

人口減少 対策のPRを

町長 来年度に向け強化



榎本 秀将 議員

人口減少は大きな問題である。人口減少対策である「定住支援策」、子育て支援策は、すばらしい施策である。



▲町の「スゴイ」を情報発信

が、いかがか。

町長

本町で取り組んでいく定住支援施策などの総合的な情報提供は、インターネットを活用した定住支援サイトの運用、定住支援リーフレット、定住促進の総合ガイド、転入者向けの暮らしのガイドがある。

しかし、町外のみならず町民にさえ周知されていないのが現状である。情報化時代をうけて、町にもホームページがあるが、その活用やリーフレットの配布が不足しているのではないかと。マスコミにも積極的にPRをし、町の魅力を発信すべきと考える。

住を希望される方に対しては、情報発信課が総合窓口となり、関係課による調整会議を開催する体制を組んでいく。PRは、インパクトの強いものを出すよう、来年度に向けさらに強化を図っていききたいと考えている。



▲何を食べようかな

北 月山荘

今後の施策

町長 仕掛けづくりを考えたい

どうするのかが



石川 武利 議員

北月山荘の利用者は、現在増加傾向にある。平成18年度と比較し

て、件数は1.3倍で、収入状況は約3倍になっている。その要因は、地元住民の多様な理解と、この地域の良さを理解する人達が町内外に増えてきたからと言える。

昨年よりコーディネーターと言われる専門

員を配置し、ますますの強化を図っている。今後の管理運営に大いに期待するものである。

現状と今後の施策は、どう考えているのか。

町長

平成20年度にリニューアル工事を実施し、その後利用が順調に伸びている状況にある。

また、今年度から地元の方々から地元の食材を活かした料理提供する形態をとり、おふくろの味として大変好評を得ている。

施設も規模的に限界があるので、ロッジやケビンの活用と、いかに相乗的に盛り上げていくかが課題である。

温泉利用もどのような仕掛けをしていくか、宿泊客、利用者の拡大に努めたい。



「何でもかんでもいい

一般質問



大型事業

民意を図れ

町長 見直しを進めている



小野 一晴 議員

今年の12月に総合計画が見直しされる予定である。

この機会に、なんでもありの計画内容を具体的にすべきである。

とくに、これから実施されるかもしれない大型事業は、集中と選択の考え方に基づいて、どの事業を実施するのか。

また、どの優先順位で実施するのかを定めるべきである。その根拠として、百人委員会や具体的なアンケート

を実施すべきと思うが、どうか。

町長

選択という観点では、平成22年度以降の大規模ハード事業の優先順位の案を提示している。

この案は、合併特例債や補助金等の活用を前提として、総合計画との調整を図りながら作成したものである。今回、総合計画見直しも事業の優先順位を基本としたい。民意の反映としては、平成20年度に実施したアンケート調査によって明らかになったところであり、これを基本に、現在見直しの作業を進めている。



▲どうする大型事業（上：新産業創造館 下：図書館）

歩道拡幅

整備を急げ

町長 関係者と話し合う



村上 順一 議員

中心市街地の活性化は、商店街に人が集まる仕組みづくりが緊急課題である。

中心商店街のある県道余目温海線の歩道拡幅整備での、バリアフ



▲狭くて歩けません（茶屋町通り）

して調査・検討を急ぐべきであると考えるが、いかがか。

町長

県に庄内地方重要事業の要望項目として、余目温海線と余目停車場線を交通安全事業の観点から、整備要望を出している。県からは、単なる1路線でなく、中心市街地活性化にどう結び付けるのかという視点を、明確に示す必要があると指導されている。道路管理者である県と、周辺住民、商店街利用者、物資搬入業者、公安委員会等関係者との協議から進めていかなければならない。

リー化が優先事業である。憩いの空間づくり、景観づくりを進め中心市街地を訪れるだれもが、快適に買物や散策のできる町づくりである。国や県の補助事業を活用することで、負担のない事業も可能である。仮称「くらしのみちづくり協議会」を設置

これからの検討というところで考えたい。

中山間地

所得向上を図れ

町長 検討が進められている



▲山地利用は楽しさいっぱい（上：ネマガリタケ 下：ウレイ）

それによる住民の経済的・所得の向上を図ってはどうか。

町長

木材乾燥施設は、今年度、共同設置運営で、協同組織設立を目的とした「庄内地区水平連携協議会」が設立され、検討が進められている。

山菜等の特用林産物は、現在もその土地に合った栽培がされている。

栽培技術は確立されているが、山菜の品目にもよるが、課題は労働力の確保かと思われる。

栽培の経営指標や販売ルートも、関係機関と研究する必要がある。グリーンツーリズムにもつながるととらえている。



吉宮 茂 議員

その地域の振興を図るには立地条件、自然条件を生かした施策の展開が重要である。国は、昨年12月に10年後の国産材自給率を

50%とする「森林・林業再生プラン」を策定した。

地元産材の付加価値を高めるための木材乾燥施設の設置、集材材生産工場の誘致すること。ネマガリタケ、ウレイ、わらびなどの特用林産物の団地化すること。教育旅行・滞在型観光の定着化すること。

新産業創造館

ライフスタイル

提案の場に

町長 やる気次第



佐藤 彰 議員

手づくりのライフスタイルが見直され、タジン鍋や蒸し器などの

台所用品が売れている。アメリカ流最高のもてなしは、台所で手作り料理を振る舞う事といわれている。自家製の野菜の料理や漬物、手づくりハムやベーコン、ぶどうや梅酒、そして盛りつけの器や花瓶も手づくりならば

最高のぜいたくである。お金さえ出せば何でも買える時代。町民が地に足の着いた、ちゃんとした暮らしを楽しんでいる事を発信する場とすべきであるが、どうか。

町長

非常に多様化している世のなかで、この多様化に本町としてどのような応え方があるのか。

また、本町でのライフスタイルというものはどういう提案ができるかを考える必要がある。

新産業創造館の可能性は、色々な分野において広がりを見せることができると思う。

これからのライフスタイルに本町全体がどう当てはめていけるかそのアイデアをどうみんまで実現していくかは、アイデア勝負とやる気次第だと思ふ。



▲エコロジースタイルできたよ（新産業創造館内）



「こころがききたい」

一般質問



児童・農村公園

維持管理は適切か

町長 集落での対応でやっている



石川 恵美子 議員

児童遊園、4力所、農村公園、13力所は町の管理公園になっている。その取り組みを見るとまちまちである。管理条例にはどちらも「常に、良好な状態において管理するものとする」と、うたわれているだけで、具体的なものは示されていない。害虫の防除形態の指導や、また、使いやすい防除機械を整える必要があると考えるが、どうか。



▲虫の糞が雨のように降ってくる（みどり児童遊園）

町長

児童遊園・農村公園の維持管理は、町直営で管理しているが、日常の清掃や雑草の草取りは、それぞれ形態は違うが、団体や集落との委託契約により管理をお願いしている。

害虫の防除は、集落の自主的な活動にお願いしているのが現状である。町所有の防除機械を自治会の申し出に応じて貸し出しをしている。

遊具、設備は、町で修繕なり点検を行っている。害虫の防除は、集落の自主的な活動にお願いしているのが現状である。町所有の防除機械を自治会の申し出に応じて貸し出しをしている。

排水対策

至急対応せよ

町長 国に要望している



小林 清悟 議員

昨年度、市街地の排水対策として改修工事を行った。これで安心と思っていたが、8月25日の大雨で、松陽地内と表町の谷地田周辺が浸水した。



▲雨が降ると夜も寝つけない（松陽地内）

きである。今後、町の対応はどうか。

町長

市街地の浸水常襲地帯の排水対策は、平成21年度から緊急対策として、7カ所の工事を実施しているが、国道を横断している箇所を改修しないと現状では、かなり厳しいと想定している。

多額の費用をかけて常設の排水ポンプを設置したにもかかわらず、状況が改善されていない。逆に悪化したように見える。住民は雨が降ると不安で、夜も安心して眠れない状況にある。新年度の予算編成を待たずに、補正予算を組んで、至急対応すべきである。

浸水する具体的な場所は、現場を検証している。早く水を引かせるよう対策を考えたい。国の経済対策関連で異常気象に伴うゲリラ豪雨対策の要望とりまとめがあり、排水路等の増設を緊急な対策として要望している。



北月山荘

食事提供

安心安全なのか

町長 配慮しながら運営



日下部 勇一 議員

利用者は増えているが、食事提供は安心安全なのか。管理運営はどうなっているのか。

委託契約書はあるが、その基になる要綱、規定がないのは疑問である。また、安全運営基準は守られているのか。次に「食品衛生法第48条で食品衛生管理者を置く」とあるが、現在の責任者は堆肥センターに勤務し、従事者に指導できるのか。さらに、時間給の最低賃金も守られていない。



▲衛生面に配慮してね（北月山荘）

かも、議員の兼業は法に抵触しないのか。また、定期バスでの食材を運んだことは問題である。

町長 これらは、どうか。北月山荘の食事提供は、色々な方々の協力を得ながらようやく実現できた

ものである。立谷沢川流域プロジェクト協議会に業務を委託し、保健所等の指導を受けながら衛生面に配慮して運営している。議員の兼業については、主力業務ということではなく、その法に抵触しないと解釈している。定期バスで外部から食材を運んだことには、後に判明した。衛生上好ましくなく、現在は行っていない。

* 掲載できなかった質問 *

齋藤 秀紀議員

- 後継者不足について
- 日本一おいしい米づくりについて

工藤 範子議員

- 就学援助について
- 子宮頸がんワクチンについて
- 温泉について
- 駅前開発について

五十嵐 啓一議員

- 新エネルギー導入事業について
- 循環型ボランティア制度導入について

押切 のり子議員

- 観光産業への振興策について

上野 幸美議員

- 公的施設、公衆場での禁煙について

榎本 秀将議員

- 庄内町の雇用情勢について

石川 武利議員

- 町民の健康づくりについて

小野 一晴議員

- 合併特例債について
- 新産業創造館について

村上 順一議員

- 農家所得の向上対策について
- 中心市街地の活性化について

吉宮 茂議員

- 人材の育成について
- 地域福祉計画の策定について

佐藤 彰議員

- 投票区の変更について
- 投票時間の繰り上げについて

石川 恵美子議員

- 町の木「ツバキ」の活用について
- ニート、ひきこもりの対応策について

小林 清悟議員

- 八幡スポーツ公園の整備について
- 町議選への立候補しやすい環境づくりに

齋藤 健一議員

- 高齢者の熱中症対策について
- 持家住宅建設祝金事業について

石川 保議員

- 風力発電事業について
- 医療費支援事業について

日下部 勇一議員

- 国民健康保険事業について
- 水道管の漏水事故について

日下部 勇一議員

- 国民健康保険事業について
- 水道管の漏水事故について
- 選挙の投票所統合について
- 選挙運動の公民館利用について
- 水害について

※詳細内容は、議会ホームページか、各公民館に置いてある会議録をご覧ください。

緊急 の お知らせ

議会報告会 開催

平成21年度決算の説明に使用しますので、この「こんにちは庄内町議会です 9月号」をご持参ください。

広く町民の皆さんへ議会活動状況について報告するとともに、町民の議会活動に対する意見、町政に対する提言等を聴き、より町民に開かれた議会を目指すため、「議会報告会」を以下により開催いたします。どの会場も概ね2時間程度の報告会となります。どの会場でも参加自由です。多数の町民の参加をお待ちしております。

・立谷沢公民館
10月29日(金)
18時30分～

・余目第三公民館
10月26日(火)
18時30分～



齋藤 秀紀



清野 等



佐藤 彰



石川 保



吉宮 茂



工藤 範子
(班長)

第一班

・余目第一公民館
10月29日(金)
18時30分～

・余目第四公民館
10月27日(水)
18時30分～

・清川公民館
10月26日(火)
18時30分～



榎本 秀将



上野 幸美



石川 恵美子



日下部 勇一



小野 一晴
(班長)

第二班

・狩川公民館
10月29日(金)
18時30分～

・余目第二公民館
10月26日(火)
18時30分～



五十嵐 啓一



押切 のり子



石川 武利



小林 清悟



村上 順一

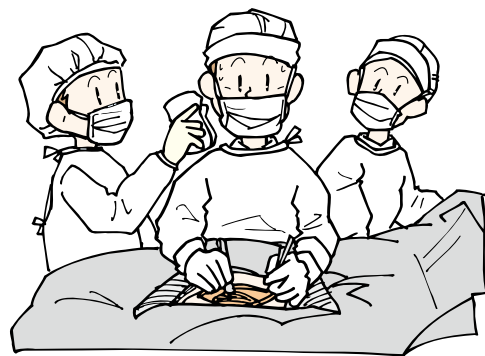


齋藤 健一
(班長)

第三班

体親書

たい しん しよ



議会や議員の活動について みなさんの疑問に答えます

常任委員会ってなまは？

私達が町民のみなさんと接している際によく聞く疑問に答えてみました。

Q. 年間どのくらい開催しているの？

A. 年4回の定例議会中に8回、議会を開いていない閉会中に22回を目処とし、年間30回ぐらい開催しています。

Q. どんなことをしているの？

A. より良い町づくりのため、各常任委員会でテーマを設けて調査・研究・討議をします。

年に一回テーマに沿った先進地を視察し、委員会としての意見をまとめて、町に改善策を提言します。

また、提言した改善策が町政に反映されているか、定期的に検証しています。

任期は2年です。



▲どう使われているのかな 伝票チェック

Q. 常任委員会の活動報告って、この広報誌だけなの？

A. 各委員会の担当する関係団体との懇談会で情報交換を行い、その内容を年二回、議会広報誌で報告しています。

Q. 先進地視察って議員の観光目的もあるんじゃないの？

A. 本町議会の視察については、まったくありません。産業建設(委)で観光地を視察することはありますが、それは観光資源についての調査です。視察の行程にも、観光の入る余地はありません。

Q. でも視察って多額の公費がかかるんじゃないの？

A. 確かに一期4年間で50万円が予定されています。

ただし、本町議会では法で支出が認められた議員個人に対する政務調査費を受けとっていません。(町によって異なりますが、4年で40万円〜80万円)

議員個々のバラツキのある調査ではなく、常任委員会としての調査を重視したからです。

シリーズ

議会 解

わかり



▲備えあれば…

主に教育課、社会教育課、保健福祉課となつており、教育・健康保険・介護保険・環境衛生などに関する調査や審査をします。

委員長 工藤 範子
副委員長 石川 武利
委員 齋藤 健一
委員 吉宮 茂
委員 上野 幸美
委員 榎本 秀将

文教厚生常任委員会



▲いっぱい入るかなあ…



▲迫力いっぱいの飛龍

各常任委員会の担当は

総務常任委員会

主に総務課、税務町民課、情報発信課となつており、町の財政・町税・防災・町づくりなどに関する調査や審査をします。

委員長 村上 順一
副委員長 佐藤 彰
委員 日下部 勇一
委員 富樫 透
委員 小野 一晴
委員 押切のり子

産業建設常任委員会

主に農林課、環境課、建設課、商工観光課、企業課となつており、経済振興・道路・河川・都市整備・上下水道などに関する調査や審査をします。

委員長 石川 恵美子
副委員長 清野 等
委員 石川 保
委員 小林 清悟
委員 五十嵐 啓一
委員 齋藤 秀紀

平成22年度 各常任委員会の 取り組み

総務常任委員会

危機管理について

(地震・水害対策)

視察地・兵庫県

淡路市・佐用町

文教厚生常任委員会

図書館整備について

視察地・長野県

塩尻市・小布施町

産業建設常任委員会

農業振興について

(農業所得の向上)

視察地・北海道

長沼町・芦別市

生声ひろば

農業集落排水



海藤正子さん (小出新田)



農業集落排水施設 (小出新田)

ええ！ ええ！
値上げするの？

知らなかったです。公共下水道より安かったですか。確かに不公平感はあると思います。でも、米価は下がる

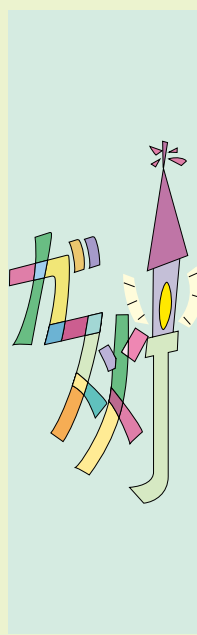
一方だし、孫にはお金がかかってきますから、困ったちゃ、困ったちゃ… 先が見えない世のなか、少しでも出費を抑

えたい時期ですから。とにかく、これに限らず公共料金は、できるだけ値上げしないようがんばってほしいです。

▼ 7月20日に発行した広報のガス灯で当委員会の編集の指針として、(故)井上ひさし氏の文章を引用させていただきました。

その際、字数などの都合で全文の一部分だけを抜粋して掲載しました。

読者から「本県の著名人であり、故人となつた今、その作品があった今、その作品があ



らためて注目されている。全文を正確に掲載してほしかった」とのご意見をいただきました。

編集段階での心配りがたりなかったことをお詫びするとともに、あらためて全文を掲載します。

「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいこ

とをゆかいに、ゆかいなことをまじめに書くこと」 井上ひさし

▼ 皆様からのご意見は読者の視点を編集方針とする我々にとって、なによりの励みです。

ひきつづきご意見・ご提言をお待ちしております。

(小野 一晴)

- | | | |
|--------|-----------|------------|
| 発行人 | 議長 | 特別委員会 |
| 長 富樫 透 | 委員長 小野 一晴 | 副委員長 石川 武利 |
| | 委員 工藤 範子 | 委員 上野 幸美 |
| | 委員 五十嵐啓一 | 委員 榎本 秀将 |